上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第 22 号（文責：校長　五十嵐貴子）
令和６年３月１５日発行

　季節は巡り、神流川の瀬音が、また豊かに響く春が訪れようとしています。なごり雪が体育館の屋根を白く染めましたが、卒業式の朝は、清々しい、きれいな青空が広がりました。
　「上野村に誇りを持ち、ふるさと上野村に心を寄せ続けられる生徒」に育ってほしい。一人一人が努力し、「仲間」になり、愛され、愛して、素敵な思い出をつくりながら充実した時間を過ごしました。保護者の皆様、上野村の皆様には、卒業生を温かく見守り、支えていただき、本当にありがとうございました。

第43回卒業式

　3月１３日㈬、厳粛な空気とご臨席の皆様の温かい祝福の思いに包まれて、上野中学校の第４３回卒業式が行われ、７名の生徒が卒業していきました。

自分とは何でどこへ向かうべきか　問い続ければ見えてくる
荒れた青春の海は厳しいけれど　明日の岸辺へと　夢の舟よ進め
今　負けないで　泣かないで　消えてしまいそうな時は
　自分の声を信じ歩けばいいの
　大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど
　苦くて甘い今を生きている

友　今、君が見上げる空は　どんな色に見えていますか？
友　僕たちに出来ることは　限りあるかも知れないけれど
確かな答えなんて何一つ無い旅さ　心揺れて迷う時も
ためらう気持ち、それでも　支えてくれる声が
気付けは　いつもそばに
友　進むべき道の先に　どんなことが待っていても
友　この歌を思い出して　僕らを繋ぐこの歌を

人生の全てに意味があるから　恐れずにあなたの夢を育てて
ああ　負けないで　泣かないで　消えてしまいそうな時は
　自分の声を信じ歩けばいいの
　いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど
　笑顔を見せて　今を生きていこう　今を生きていこう
　拝啓　この手紙読んでいるあなたが　幸せな事を願います

卒業生の皆さんに　栄あれ　香あれ　光あれ